

平成25年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 楠見中 学校
作成日	平成 26 年 2 月 28 日

1 教育目標

たがいに温かく 自己にはきびしく
進んで 知を磨き 心を養い 体を鍛えていく たくましい生徒を育てる

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	開かれた学校づくりに取り組む姿勢が感じられる。学校行事の実施に向けて、学校が家庭、地域に積極的に関わりを持つことを常に意識してほしい。	教育活動のあらゆる場面で情操教育に取り組もうとしている。生徒や保護者との信頼関係を構築し、生徒一人ひとりの心に響くような取組や指導を継続してもらいたい。	学校の取組だけではなく、保護者の理解・協力が必要となるので、その方法も考えていく必要がある。学校と家庭の両面からの取組によって、基礎基本の確実な定着が実現できるものである。
取組の状況に対する意見	地域の行事に積極的に参加したり、地域の関係機関との連携を大切にしていることは評価できる。今後は、保護者への理解・協力をどのように取り組んでいくかが課題と思われる。	教職員が学校生活の様々な場面において、生徒に声かけ・言葉かけを行ったり、生活習慣やいじめに関するアンケート、教育相談等を実施したりして、生徒理解を図ろうとしている姿勢がうかがえる。	基礎学力講座や、テスト前や懇談会時の補習など、工夫しながらの学力向上に向けた取組は理解できる。今後は、生徒が受け身の授業ではなく、意欲的に取り組む授業を考えてもらいたい。
検証結果に対する意見 取組の適切さの	地域行事への参加、体育祭の日曜開催等は、学校、家庭、地域が連携するためのよい機会となったが、保護者の参加が少ないように感じる。もっと参加者が多くなるよう努力する必要がある。	教員が職員室から出て授業に集中していない生徒に対応していることで、生徒が穏やかな表情で会話ができていると思う。今後も指導方法を工夫するとともに、粘り強く関わることで規範意識を浸透させてほしい。	学力向上に向けて授業内容を工夫するとともに、基礎学力の向上に効果的な複数の先生による授業や、少人数の学習集団に分けての指導を考えてみてはどうか。
改善方法に向けての意見 次年度に向けての	体育祭の日曜開催を地域では楽しみにしている人も多いので続けてほしい。また、三者(学校、家庭、地域)の連携、協力体制は不可欠と考えているので、関わりを持てる機会を増やしてほしい。	道徳教育の充実、人権・同和教育の推進、生徒指導の充実等に向けて、さらにきめ細かい指導に取り組む、人権が尊重される学校づくり、一人ひとりを大切にしたい教育を進めてほしいと願っている。また、言葉の乱れが気になる昨今、人権教育を進め、言葉の重みや命の大切さをしっかり教えてほしい。	落ち着いた環境の中で、生徒がよくわかり、学ぶ意欲を高めるような授業とともに、生徒一人ひとりに応じた指導をさらに充実させ、基礎学力の向上に繋げてほしい。

3 その他のご意見

学力の向上を目指した授業改善を図るため、校内研修の充実を進めるよう努力してほしい。また、家庭学習の重要性を各家庭に発信し、学校と家庭・地域の連携を進め、共に相互理解をはかり、学校教育を進めてほしい。今後、学校は様々な取組を保護者や地域にアピールし、共に重点目標の実現に向けて取り組めるような方策を考えてほしい。さらに、育友会が学校と地域の架け橋となり、地域の協力も得ながら学校教育がますます充実することを期待している。